



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月10日

上場会社名 タカセ株式会社
 コード番号 9087 URL <https://www.takase.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大宮司 典夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 笹岡 幹男

TEL 03-3571-9497

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	5,626	1.6	149	6.9	173	14.4	97	8.0
2020年3月期第3四半期	5,714	8.0	139	37.2	151	32.6	105	39.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 143百万円 (73.1%) 2020年3月期第3四半期 82百万円 (49.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	98.10	
2020年3月期第3四半期	106.64	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	10,154	6,264	61.7	6,303.99
2020年3月期	10,275	6,171	60.1	6,209.65

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 6,264百万円 2020年3月期 6,171百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		50.00	50.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	4.2	130	23.3	150	18.0	70	28.9	70.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	1,054,513 株	2020年3月期	1,054,513 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	60,733 株	2020年3月期	60,644 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	993,852 株	2020年3月期3Q	993,915 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、総じて新型コロナウイルス感染症の感染拡大による停滞を招きました。緊急事態宣言解除後には一時的な持ち直しの動きは見られたものの、11月以降に感染再拡大の局面を迎えるなど、引続き先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済情勢の中、物流業界におきましても、新型コロナウイルス感染症拡大による停滞からは徐々に回復の傾向が見られましたが、最低賃金の上昇等による労務コストおよび運賃仕入コストの高止まりの状況は変わらず、依然として厳しい経営環境が継続しております。

当社グループは、2019年度に策定した「3ヵ年中期経営計画」にもとづき、こうした社会情勢や市場が大きく変化する時代の流れの中におきましても、当社グループ各社がこれまで培ってきた物流業務品質の信頼性や優位性を維持し、さらに当社グループの将来のコアとなる新規ビジネスの拡大、新規顧客の獲得に向け、「医療機器製造業」と「高度管理医療機器販売業および貸与業」免許を活かした営業活動を中心に取組んでまいりました。同時に、各営業所においては、業務取扱量の減少に合わせた適正な人員配置などにより作業の効率化に取組み、これらの取組が徐々に効果が始まったことなどから、業績回復の兆しが見えてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間の業績は、主要顧客の配給邦画のヒットによる特需があったほか、引続き個人向け通販業務の業務取扱が堅調に推移したことに加え、上海現地法人をはじめとした連結子会社各社の業績が好調を維持できたこともあり、11月に修正公表した計画値を上回ることとなりましたが、第1四半期連結会計期間の落込みによる影響が大きく、当第3四半期連結累計期間の営業収益は、前年同期間と比較して、1.6%減の56億26百万円となりました。

利益面につきましては、各営業所において取組んできた原価率改善のための施策が徐々にその効果が見え始めてきたことにより、営業利益は、前年同期間と比較して、6.9%増の1億49百万円となりました。また、経常利益は14.4%増の1億73百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別損失に投資有価証券評価損等300百万円の計上を余儀なくされたこともあり、8.0%減の97百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

- A. 総合物流事業におきましては、当第3四半期連結会計期間において主要顧客の配給邦画の特需による業務量の大幅な増加があったほか、上海現地法人をはじめとした連結子会社各社において堅調に業績を積上げたことに加え、継続して通販関連業務の業務取扱拡大による業績改善が見られたものの、新型コロナウイルス感染症を主因とした第1四半期連結会計期間の業務取扱減少が大きく影響し、営業収益が前年同期間と比較して0.9%減の55億80百万円となりました。また、営業利益は、各事業所における原価率改善の取組みが利益に寄与したものの、営業収益と同様に、第1四半期連結会計期間の落込みを補うことができなかったことから、前年同期間と比較して13.4%減の1億20百万円となりました。
- B. 運送事業におきましては、当事業が、総合物流事業に対する運送分野を担っております。営業収益は、既存取引の業務取扱が減少したことから、前年同期間と比較して12.3%減の2億29百万円となりました。しかしながら、営業利益は、営業収益の減少はあったものの、備車費用等の圧縮によるコスト削減効果により、前年同期間と比較して1.5%増の7百万円となりました。
- C. 流通加工事業におきましては、当事業が、主に、総合物流事業に対する流通加工（倉庫内オペレーション）分野を担っております。新型コロナウイルス感染症の影響により業務取扱量が減少し、営業収益は前年同期間と比較して4.1%減の6億87百万円となりました。営業利益は、コスト削減に向けた業務の効率化に積極的に取組んだことにより営業収益の減少による影響を補えたことから、前年同期間と比較して31.9%増の10百万円となりました。

(注1) 上記営業収益は、セグメント間取引消去前の金額で記載しております。

(注2) 第1四半期連結累計期間よりセグメント利益につきましては、営業利益又は営業損失を使用しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億20百万円(1.2%)減少し、101億54百万円となりました。

この主な要因は、受取手形及び売掛金が1億11百万円、その他流動資産が56百万円増加したものの、減価償却等により有形固定資産が1億57百万円、投資有価証券が1億46百万円減少したことによるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ2億14百万円(5.2%)減少し、38億90百万円となりました。

この主な要因は、1年内返済予定の長期借入金が1億67百万円、繰延税金負債が43百万円増加した一方で、短期借入金が80百万円、長期借入金が3億66百万円減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ93百万円(1.5%)増加し、62億64百万円となりました。

この主な要因は、当第3四半期連結累計会計期間に親会社株主に帰属する四半期純利益97百万円を計上した一方で、前連結会計年度の剰余金処分による期末配当金49百万円による減少があったことにより利益剰余金が47百万円増加したことに加え、その他有価証券評価差額金が54百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期連結業績予想に関する事項につきましては、当第3四半期連結会計期間業績の各利益項目が、2020年11月10日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表した業績予想を上回る進捗となったものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大により緊急事態宣言が発出されるなど、依然として先行きは不透明であるため、現時点においては、公表しております業績予想に変更はありません。

なお、今後業績予想に修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,124,607	2,150,575
受取手形及び売掛金	829,492	940,493
原材料及び貯蔵品	10,337	10,415
前払費用	41,093	50,502
未収法人税等	3,371	2,153
その他	163,302	219,535
流動資産合計	3,172,206	3,373,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,803,875	9,812,323
減価償却累計額	△6,777,439	△6,930,173
減損損失累計額	△59,899	△60,479
建物及び構築物 (純額)	2,966,537	2,821,670
機械装置及び運搬具	1,929,678	1,927,109
減価償却累計額	△1,822,966	△1,830,262
減損損失累計額	△2,277	△2,277
機械装置及び運搬具 (純額)	104,434	94,570
土地	2,382,526	2,382,526
その他	535,381	557,754
減価償却累計額	△437,990	△459,468
減損損失累計額	△5,654	△9,331
その他 (純額)	91,736	88,955
有形固定資産合計	5,545,235	5,387,722
無形固定資産		
借地権	458,486	458,486
その他	122,222	111,591
無形固定資産合計	580,709	570,077
投資その他の資産		
投資有価証券	577,510	431,196
繰延税金資産	26,810	19,580
その他	378,122	377,154
貸倒引当金	△4,930	△4,590
投資その他の資産合計	977,512	823,339
固定資産合計	7,103,457	6,781,139
資産合計	10,275,663	10,154,816

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	365,636	405,552
短期借入金	620,000	540,000
1年内返済予定の長期借入金	288,000	455,000
未払費用	107,833	113,460
未払法人税等	22,441	16,904
賞与引当金	46,153	26,985
役員賞与引当金	768	—
その他	67,530	106,046
流動負債合計	1,518,363	1,663,950
固定負債		
長期借入金	1,997,000	1,631,000
役員退職慰労引当金	68,267	53,075
退職給付に係る負債	394,604	372,761
その他	125,850	169,249
固定負債合計	2,585,721	2,226,085
負債合計	4,104,085	3,890,035
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,133,280	2,133,280
資本剰余金	2,170,568	2,170,568
利益剰余金	1,966,393	2,014,199
自己株式	△160,000	△160,166
株主資本合計	6,110,242	6,157,882
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,628	83,742
為替換算調整勘定	31,707	23,155
その他の包括利益累計額合計	61,336	106,897
純資産合計	6,171,578	6,264,780
負債純資産合計	10,275,663	10,154,816

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
営業収益	5,714,729	5,626,068
営業原価	4,926,573	4,838,229
営業総利益	788,156	787,838
販売費及び一般管理費	648,653	638,746
営業利益	139,502	149,092
営業外収益		
受取利息	2,341	1,096
受取配当金	5,637	6,169
受取賃貸料	17,133	17,825
為替差益	2,141	—
その他	20,442	29,412
営業外収益合計	47,696	54,504
営業外費用		
支払利息	29,287	26,171
為替差損	—	1,045
支払補償費	481	921
その他	5,781	1,966
営業外費用合計	35,550	30,105
経常利益	151,648	173,491
特別利益		
固定資産売却益	939	1,902
特別利益合計	939	1,902
特別損失		
固定資産除売却損	1,314	188
投資有価証券評価損	—	24,287
減損損失	—	4,335
その他	—	1,725
特別損失合計	1,314	30,536
税金等調整前四半期純利益	151,273	144,856
法人税、住民税及び事業税	12,436	20,498
法人税等調整額	32,849	26,858
法人税等合計	45,285	47,357
四半期純利益	105,988	97,499
親会社株主に帰属する四半期純利益	105,988	97,499

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	105,988	97,499
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,302	54,113
為替換算調整勘定	△22,031	△8,552
その他の包括利益合計	△23,333	45,561
四半期包括利益	82,655	143,060
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,655	143,060

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の拡大による会計上の見積りおよび仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	5,642,799	36,622	11,724	5,691,146	23,583	5,714,729
セグメント間の内部営業収益又は振替高	△8,657	224,627	705,216	921,185	59,271	980,457
計	5,634,141	261,249	716,940	6,612,332	82,855	6,695,187
セグメント利益	138,765	7,846	8,293	154,905	5,808	160,714

	調整額 (注)2	四半期連結損益計算書 計上額(注)3
営業収益		
外部顧客への営業収益	—	5,714,729
セグメント間の内部営業収益又は振替高	△980,457	—
計	△980,457	5,714,729
セグメント利益	△21,211	139,502

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備保障事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△21,211千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

2. 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

①報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	総合物流事業	運送事業	流通加工事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	5,577,164	17,808	7,798	5,602,771	23,297	5,626,068
セグメント間の内部営業収益又は振替高	3,739	211,293	679,919	894,952	73,732	968,684
計	5,580,903	229,102	687,718	6,497,723	97,029	6,594,753
セグメント利益	120,142	7,967	10,935	139,044	8,342	147,387

	調整額 (注) 2	四半期連結損益計算書 計上額(注) 3
営業収益		
外部顧客への営業収益	—	5,626,068
セグメント間の内部営業収益又は振替高	△968,684	—
計	△968,684	5,626,068
セグメント利益	1,704	149,092

(注) 1. 「その他」の区分は、付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位のものであります。

2. セグメント利益の調整額1,704千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

②報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「総合物流事業」セグメントにおいて、タカセ株式会社大阪営業所の建物附属設備等にかかる減損損失4,335千円を計上しております。

③報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結累計期間より、当社グループの主要な経営管理指標の見直しを機に、「その他」の区分は、付随的な収益を獲得するに過ぎない構成単位のものとし、セグメント利益も営業総利益から営業利益に変更しております。

この変更に伴い、前第3四半期連結累計期間のセグメント利益も営業利益に変更したうえで比較しております。